



<平澤 稔 (ひらざわ みのる) >

国、地域：イタリア（ミラノ）
年 齢：72歳
現 職：POPOROYA SRL 代表取締役
SHIRO SRL 代表取締役

<平澤 真美 (ひらざわ まみ) >

国、地域：イタリア（ミラノ）
年 齢：40歳
現 職：POPOROYA SRL 代表取締役
SHIRO SRL 代表取締役

○ 長年に渡り、イタリアミラノで寿司・和食ブームを牽引 ～山口県産品のイタリア向け輸出にも貢献～

- ・ 1977年から日本食材販売店責任者として、本物の日本食の提供や日本食材の紹介及び宣伝を実施。
- ・ イタリアの家庭でも和食が作れるように日本産食材を販売するなど長年にわたり、日本食の普及や定着に尽力。
- ・ 食をテーマに開催されたミラノ国際博覧会に出展した山口県の商品を発注したことで、ミラノへ向けた山口県産品の本格的な輸出が開始。

<平澤 稔氏>

1972年に渡伊。ローマのレストラン東京で最初の寿司職人として働いた後、1977年にミラノに転居。ミラノでも寿司を初めて提供するポポロ屋の営業を開始。イタリアにおいて寿司を普及させた第一人者。

自国料理に愛着を持ち、食に対して保守的であるイタリア人に対して、料理に関する彼らの要望に応えながらも、フュージョン料理に向かうことなく、伝統的な和食のスタイルを維持しながら徐々にイタリア人を魅了し、40年以上に渡り和食の普及に貢献。

ポポロ屋は2008年ミラノ商工会議所より20年営業表彰を受ける。2018年に海外における日本産食材サポーター店として認定された。

<平澤 真美氏>

2004年有限会社ポポロ入社。日本食材を販売する小売店業務をかわきりに、その後複数の和食店の改装オープンを指揮し、レストラン経営を学ぶ。

食材小売店ポポロ屋では、真美氏の方針で商品は規制により輸入できない場合等を除き日本産を優先しており、販売されている商品の約80%は日本から輸入されたものとなっている。経営する小売店や和食店用食材を選択する責任者であり、これまで取り扱った商品は約500種類にも及ぶ。

常に新たな和食材の取扱いに積極的に取り組んでおり、最近もミラノ万博後に山口県産品を中心とした新商品を継続して輸入し、販売している。